

地震時の建物被害危険度マップ

危険度の区分

危険度を下の表のように色分けをしましたが、次の範囲には色が付いていません。

- ・計算に用いた資料で、建物が無い範囲
- ・計算の結果、建物が被災しないと判定した範囲

危険度	被災形態のイメージ
高い	居住のための基本的な機能の一部を失った状態になります。 外壁や柱の傾斜が1/20以上になります。 
中	居住のための基本的な機能の一部を失った状態になります。 
低い	路面の亀裂が生じます。外装に若干の剥離がある等の状態になります。 

揺れが収まったら、避難所への避難を開始しましょう。



指定緊急避難場所

地区	番号	避難場所名
宮内	①	宮内地区社会教育センター
甲佐	②	甲佐小学校
	③	甲佐町総合保健福祉センター「鮎緑」
	④	甲佐町農業研修センター「ろくじ館」
	⑤	甲佐地区防災公園
竜野	⑥	甲佐中学校
	⑦	龍野小学校
	⑧	龍野福祉ふれあいセンター
白旗	⑨	甲佐町町民センター
	⑩	白旗小学校
	⑪	白旗福祉ふれあいセンター
	⑫	上益城農業協同組合本所
乙女	⑬	乙女小学校
	⑭	乙女高齢者福祉センターまつやま

倒壊しやすい建物条件

- ・耐力壁の不足や片寄りのある建物。
- ・屋根の重量過大のある建物。
- ・建物の老朽化している建物。
- ・1階部分が車庫等での上下階のバランスの悪い建物。
- ・地盤が悪く基礎の弱い建物。



耐力壁の不足や片寄り



建物の老朽化

危険度マップとは？

地域ごとに建物を建築年代別、構造別に集計した建物の分布と50mメッシュの揺れやすさから、建物被害の割合を危険度として表示したものです。このため、古い住宅等が分布し、メッシュ内の揺れが強い地域では、危険度が高くなります。



ここで表示した震度は、地震の規模や震源からの距離により、想定される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によって、揺れの強弱が異なります。

想定地震とは？

本マップは、先の熊本地震の震源断層でもある「布田川・日奈久断層帯地震 (M7.9)」と「全国どこでも起こりうる直下の地震 (M6.9)」を踏まえて、甲佐町に影響がある全ての地震の揺れやすさを重ね合わせた最大震度を想定しました。この想定地震の考え方は、活断層が認められる地域だけでなく、現在見出せない地域でも網羅的に検討することが重要であるという認識に基づいています。「全ての地域で何時地震が発生するか分からない」ため、日頃からの防災の備えを行うことが大切です。

0 1 2km

作成年 (H30.3)